

◎ 江戸幕府の将軍について、次の文をもとに、問いに答えなさい。

【A】 関東を領地にすると、(①) の町を整備した。1600年に、対立する(②) を中心とした西軍を(③) の戦いで破り、権力を握った。朝廷から(④) に任じられ、(①) に幕府を開いた。

早々に将軍職を(⑤) にゆずったが、引き続き大きな権力を持ち続け、1615年に(⑥) の陣で(⑦) 氏をほろぼした。死後は、神として(⑧) に祭られた。

【B】 (⑨) の孫で、「生まれながらの将軍」と言われる。大名を家来として扱い、幕府の仕組みを整え、大名を取り締まる決まりを改正するなど、幕府の支配体制を固めた。

(1) A・Bの文が、それぞれだれのことを述べているか、答えなさい。

(2) A・Bの文の①～⑨にあてはまる言葉を答えなさい。

解答欄

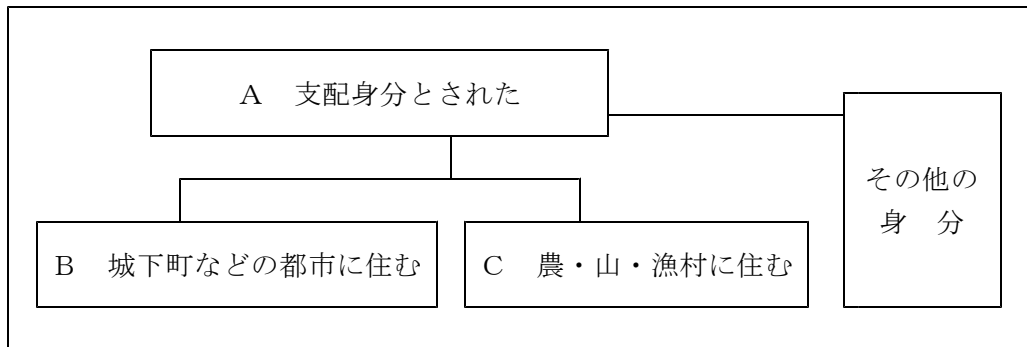
(1)	【A】	【B】

(2)	①	②	③
	④	⑤	⑥
	⑦	⑧	⑨

(1) 幕府が出した「大名を取り締まる決まり」について、問いに答えなさい。

- ① この決まりの名前を答えなさい。
- ② この決まりの中で、大名が領地と幕府のおかれた都市の間を行き来することが定められていました。このことを何というか、答えなさい。

(2) 江戸時代の身分制度について、下の図をもとに、問いに答えなさい。



- ① 上の図のA～Cに当てはまる身分の名前を答えなさい。
- ② A～Cのうち、一番人口が多かったのはどれか、記号で答えなさい。

(3) 幕府が宗教や外国に対して行った扱いについて、問いに答えなさい。

- ① 幕府が、禁止して信者を取り締まるようになった宗教の名前を答えなさい。
- ② 幕府が、外国との貿易や交流を制限した政策を何というか、答えなさい。

解答欄

(1)	①	②

(2)	①			②
	A	B	C	

(3)	①	②

組 番 名前

◎ 江戸幕府の大名への政策に関して、下のA～Cの文をもとに、問いに答えなさい。

【A】幕府は、強大な力を持っていた。幕府の直接の領地と、将軍の直接の家臣である旗本や御家人の領地を合わせると、全体の(①)分の一の石高になった。さらに重要な都市や鉱山を支配し、貨幣づくりの権利も幕府が独占した。大名に対して法律を定めて統制し、取りつぶしや領地替えなども盛んに行った。江戸を中心とする道である街道を整備し、要地には(②)を設置した。

【B】江戸時代では、将軍から(③)万石以上の領地を与えられた者を大名といい、将軍家とのかかわりなどにより、3種類に分けられた。各大名の領地とその政治の組織を(④)という。幕府と(④)による全国の土地と人々を支配する仕組みを、「(⑤)体制」という。

【C】将軍は、基本的には代々(⑥)氏の宗家の中から選ばれ、その中に継ぐ者がいない場合は、一族の中から選ばれる仕組みになっていた。

- (1) A～Cの各文中の()にあてはまる言葉や数字を答えなさい。
- (2) Aの文にある「大名に対する法律」には「大名が許可なく城を修理すること」「大名同士が幕府に無断で婚姻すること」「500石積以上の大きな船をつくること」などを禁止していましたが、その理由を書きなさい。
- (3) Aの文にある「大名に対する法律」と同様に、幕府は天皇や公家に対する法律をつくり、行動を制限しました。その法律の名前を答えなさい。
- (4) Aの文にある特に重要とされた五街道のうち、1つの名前を答えなさい。
- (5) Bの文の「3種類の大名」の名前と意味について、簡単に述べなさい。また、幕府が行った大名の配置の工夫を簡潔に述べなさい。

解答欄

(1)	①	②	③	④	⑤	⑥
(2)						
	(3)		(4)			

(5)	大名の種類	その意味
	配置の工夫	

◎ 幕府の庶民に対する支配政策や村の自治に関して、次の文をもとに、問いに答えなさい。

農村に住む百姓は、土地を持つ(①)と土地を持たない(②)に分けられ、村の代表である(③)や、村をいくつかのグループに分けた代表である組頭や百姓代などの村役人が中心となって村を運営した。百姓の生活には様々な規制があり、収穫物の中から(④)を納めた。また、(⑤)という、互いに監視し合いながらおきてを守ったり犯罪を防いだりする制度が取られ、おきてを破った者には(⑥)という制裁が行われたり、その者が属する組に連帯責任が負わされたりした。

(1) 文中の①～⑥にあてはまる言葉を答えなさい。

(2) ④に関して、四公六民といった言葉が使われています。これは収穫物のうち何%から何%までを納めるという意味でしょう。それぞれ数字で答えなさい。

解

答欄

(1)	①	②	③
	④	⑤	⑥

(2)	%から %
-----	-------

組 番 名前

◎ 幕府が行った対外政策や宗教政策などに関して、次のA～Cの文をもとに、問いに答えなさい。

【A】幕府は、当初、大名や商人に (①) という許可状を与え、東南アジアの国々との貿易を進めた。多くの日本人が海外に渡り、東南アジア各地に (②) ができた。また、ヨーロッパの国々との貿易についても、それまでの相手国であるスペインやポルトガルばかりでなく、新たに (③) や (④) との貿易も始まった。

【B】幕府は (⑤) 教に対して、当初は黙認をしていたが、禁教令を出した後は、厳しく迫害し、取り締まった。1637年に起きた (⑥) を鎮め、1639年のポルトガル船来航禁止の後は、明(今の中国)と (③) の2国の船にのみ、九州の (⑦) の港に限り貿易を許した。これ以降、外交や貿易、外国の情報などは幕府が独占した。また、幕府は、(⑤) 教の信者を発見するために (⑧) やその母であるマリアの像を踏ませる (⑨) を行ったり、仏教の信者であることを寺に証明させる (⑩) を行ったりした。

【C】豊臣秀吉が行った出兵のために途絶えていた (⑪) との交流が、江戸時代になり復活した。将軍が代わるごとに (⑫) という使節が来るようになり、貿易も行われた。

(1) A～Cの文中の①～⑫に当てはまる言葉を答えなさい。

(2) 文中の⑧の港につくられ、実際に貿易が行われた人工の島の名前を答えなさい。

(3) 文中の③の国が、ヨーロッパの国でありながら、江戸時代を通じて貿易を許された理由を書きなさい。

(4) 禁教され、迫害を受けても⑤の宗教を信仰し続けた信者のことを何というか、答えなさい。

解答欄

(1)	①	②	③	④
	⑤	⑥	⑦	⑧
	⑨	⑩	⑪	⑫

(2)	(3)	(4)

- ◎ 現代の沖縄県と北海道について、次の文について、①～⑥にあてはまる言葉を答えなさい。

現在の沖縄県は、室町時代以降、(①) 王国として、交易により発展した。江戸時代の初めに (②) 藩に征服されたが、同時に中国の王朝である (③)、そして、それを倒した清にも朝貢していた。

現在の北海道は、当時は (④) と呼ばれた。(⑤) 民族が住み、日本人とばかりでなく、千島列島や樺太、中国大陸の人々とも交易をしていた。日本では松前藩が交易を独占したが、次第に (⑤) の人々にとって不利なものになった。それに対し、(⑤) の人々は度重なる反抗をした。特に、1669年には (⑥) を中心とした戦いが起きたが、鎮められ、日本による支配をさらに強く受けるようになっていった。

解答欄

①	②	③

④	⑤	⑥

組 番 名前 _____

- ◎ 幕府が、キリスト教を厳しく取りしまった理由を、その宗教の教えと幕府の政策を関連付けて100字以内で書きなさい。

解答欄

	30
	60
	90

組 番 名前

- ◎ 江戸時代が260年以上も続いた理由を、幕府の支配力の強さと社会の安定との関係から、室町幕府と比較しながら、180字以内で書きなさい。

解答欄

	30
	60
	90
	120
	150
	180

<基本問題①>

【解答】(1) A 徳川家康 B 徳川家光

- (2) ① 江戸 ② 石田三成 ③ 関ヶ原 ④ 征夷大將軍 ⑤ 徳川秀忠
⑥ 大阪(大坂, 大阪夏) ⑦ 豊臣 ⑧ 日光東照宮 ⑨ 徳川家康

【解説】○ 江戸幕府の基礎をつくった人物についての基本問題です。江戸幕府は、初代将軍家康～3代将軍家光の時期に、その支配体制を固めました。

<基本問題②>

【解答】(1) ①武家諸法度 ②参勤交代

(2) ①A 武士 B 町人 C 百姓 ②C

(3) ①キリスト教 ②鎖国

【解説】○ 江戸幕府の政策についての基本問題です。ここでは大名、一般の人々、宗教に対する政策を取り上げています。各方面に対する支配を幅広く行っていることをつかむことが大切です。

<応用問題①>

【解答】(1) ① 四 ② 関所 ③ 1 ④ 藩 ⑤ 幕藩 ⑥ 徳川

(2) 大名が軍事力を大きくしたり、大名同士が結び付いたりして幕府に反抗する力をつけることを防ぐため

(3) 禁中並びに公家諸法度

(4) 東海道, 中仙道(中山道), 甲州街道, 奥州街道, 日光街道 の中から1つ

(5) 親藩 徳川家の一族(親戚)

譜代 古く(関ヶ原以前)からの徳川家の家来

外様 関ヶ原の戦以降に徳川氏に従った大名

(配置の工夫) 江戸の近くや重要地には親藩及び譜代を配置し、遠隔地に外様を配置した。

【解説】○ 江戸幕府の支配政策を幅広く捉え、整理する問題です。

その政策は、大名や天皇・公家、一般の人々、宗教勢力、外国といった、幕府を脅かす可能性のある様々な存在に対して行われ、幕府支配を二重三重に固めるものでした。それが、江戸時代が260年以上も続いた大きな要因であり、その間は国を分けるような大きな社会の乱れがない「平和な時代」が続いたのです。

【採点基準】

番号	採点の基準
(2)	解答と同様の意味が書けていれば正解とする。
(5)	親藩, 譜代, 外様は順不同 その意味, 配置の工夫については, 同様の意味が書けていれば正解とする。

<応用問題②>

- 【解答】(1) ① 本百姓 ② 水のみ百姓 ③ 庄屋 (名主)
④ 年貢 ⑤ 五人組 ⑥ 村八分
(2) 40%から50%

<応用問題③>

- 【解答】(1) ① 朱印状 ② 日本町 (日本人町) ③ オランダ ④ イギリス
⑤ キリスト ⑥ 島原・天草一揆 ⑦ 長崎 ⑧ イエス・キリスト
⑨ 絵踏 ⑩ 宗門改め ⑪ 朝鮮 ⑫ (朝鮮) 通信使
(2) 出島
(3) キリスト教を布教しないことを保証したから
(4) 隠れキリシタン

【採点基準】

番 号	採 点 の 基 準
(1) (3)	⑥は「島原の乱」も正解とする。 ⑧は「イエス」も正解とする。 解答と同様の意味の内容が書けていれば正解とする。

<応用問題④>

- 【解答】① 琉球 ② 薩摩 ③ 明
④ 蝦夷地 ⑤ アイヌ ⑥ シャクシャイン

<応用問題⑤>

【解答】○ キリスト教の神への信仰を重んじる教えは、幕府が行った身分制度や強い権力の構造による支配政策を否定する考え方につながり、キリスト教が広まると幕府に対する批判が強まる危険性があるから。(90字)

【解説】○ 幕府の支配政策の意図や意味に関して、説明する問題です。

- ・ ここでは、キリスト教の禁止を取り上げました。「禁止」ということは、「幕府にとって都合が悪い」ということですから、その理由を考えればよいわけです。そうすると、キリスト教の教えと幕府がつくろうとしている社会との矛盾が、その鍵になります。
- ・ ポイントは、キリスト教の教えがどのようなものか、幕府のどんな政策との間で問題があるか、キリスト教を禁止しないとどうなる(危険性がある)か、の3点になります。

【採点基準】

採 点 の 基 準
(文字数) ・ 80字以上で、配点通りに与える。 ・ 60～79字で、配点の8割程度与える。 ・ 60字未満は、配点の5割程度与える。

<応用問題⑥>

【解答】○ 室町時代は、幕府の支配力の強弱が社会の安定や動乱と密接に関連した。特に応仁の乱以降の戦国期は幕府の力が弱く、日本は戦乱の時代が続いた。江戸幕府は大名や天皇など、幕府を脅かす可能性のある各方面に向けた支配政策を厳しく実行し、社会の隅々にまで行き渡らせた。この強い支配による統一政権が続いたことで、社会が安定し、大きな戦乱のない時期が長く続いた。(172字)

【解説】○ 江戸時代が長く続いたのは、幕府の支配政策が十分に社会に行き渡っていた時期が長く続き、大きな変革が起きなかったということです。つまり、幕府の支配力の強さによる社会の安定が、江戸幕府の大きな特色になります。これは、室町時代と比較すると、一層はつきりします。室町時代を前・中・後の3期に分けると、その前期は南北朝の対立、後期は群雄割拠の戦国時代と、幕府の支配力の強さと社会の安定度が連動します。

- ・ ポイントは、「幕府の支配力」と「社会の安定」のかかわりの視点から、室町時代と江戸時代それぞれの特色を比較することです。

【採点基準】

採 点 の 基 準
(文字数) ・ 150字以上で、配点通りに与える。 ・ 120～149字で、配点の8割程度与える。 ・ 120字未満は、配点の5割程度与える。